

## 令和6年度・第1回会報

第27回

令和6年5月10日 30年中間貯蔵施設地権者会 会長 門馬 好春

本年2月からの主な活動内容を第27回会報としてお届けさせていただきました。

会長の私自身4月17日コロナ陽性反応となり、後遺症のたるさがいまま残っており、総会準備等が遅延しており、会員の皆さまには大変ご迷惑をお掛け致しております。

### 1.【第10回 令和6年度定期総会開催のお知らせ】

コロナ禍や冒頭事情により昨年と同様書面決議方式で来月令和6年度定期総会を開催させていただきたいと思います。つきましては、総会書面「前年度事業報告・決算及び監査報告並びに今年度事業計画と収支予算と役員の新任案など」の準備が整い次第関係書類をご送付させていただきます。

会員の皆さまのご理解・ご協力につきましてよろしくお願いたします。

### 2.【第11回環境省説明会の環境省文書回答】

昨年11月30日第11回環境省説明会での会員の皆さまからの質問・意見・指摘・要望等とその後の追加質問等も含め1月12日環境省に文書を送付いたしました。

3月28日付環境省の回答書が29日速達・簡易書留で届きました。内容につきましては添付資料「質問等及び環境省回答書」をご覧ください。「当会 HP 掲載」

### 3.【環境省との交渉(個人)】

2月7日東京神田で門馬会長が他の会員と共に団体交渉と同じ内容で昨年6月・10月に続き個人交渉を実施致しました。昨年交渉の環境省主張が法令などの根拠

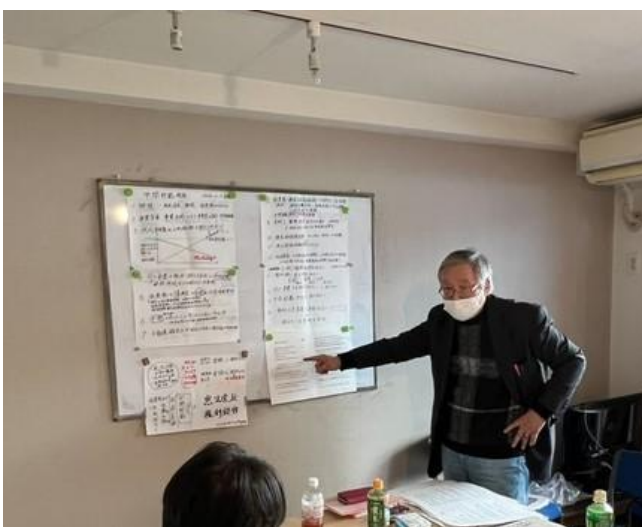
を欠いている事、論理性がない事を指摘致しました。当初当会が主張した30年間の事業業定期借地権契約も平成20年改正の借地借家法により適正である事を指摘。またどの事業者でも公共事業の内規基準は1つで、環境省だけが異なる内規基準を2つ策定した矛盾を指摘。今月の交渉ではさらに追及していきます。

**3. 【お知らせ】～5月22日環境省との交渉・①～⑤当会 HP・会長 FB でご紹介～**

- ①湯本古滝屋「原子力災害考証館 furusato」での当会展示場、大幅に期間延長。
- ②門馬幸治顧問、1月21日・22日福島民報1面「デジタル版含む」に掲載。
- ③門馬会長、3月13日第229回ふくしま復興支援フォーラムでズーム報告。
- ④3月東京新聞「私の東京物語」に門馬会長10話連載・好評により⑤に続く
- ⑤門馬顧問案内での5月6日実家の特集記事及び中間貯蔵施設立入り動画掲載。
- ⑥財界ふくしま6月号「発売中」に門馬会長の特別寄稿12頁が掲載。

**【2月7日環境省との交渉の様子】**

**【2月21日福島民報掲載の一部】**



**4. 添付資料 第11回環境省説明会での質問等及び環境省回答書 1部 以上**